

令和7年度 岩沼市公共下水道事業 下水道管路施設（雨水）特別重点調査業務 仕様書

第1章 総則

1. 適用の範囲

- (1) 本仕様書は、岩沼市が発注する下水道管路施設（雨水）の調査業務に適用する。
- (2) 特記仕様書に記載された事項は、この仕様書に優先する。
- (3) 仕様書、特記仕様書に疑義が生じた場合は、発注者と協議により決定する。

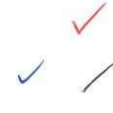
2. 成果の所有等

調査に伴って得られた資料及び成果は全て当市の所有とする。また、調査の成果等は、市の承諾なしに公表しないこと。

3. 法令等の遵守

- (1) 受注者は、調査をするに当たり、下記に掲げる法律及びその他の関係法令、条例、規則等を遵守すること。

- 1) 労働基準法
- 2) 労働者災害補償保険法
- 3) 消防法
- 4) 建設業法
- 5) 建築基準法
- 6) 港湾法
- 7) 毒物及び劇物取締法
- 8) 道路法
- 9) 下水道法
- 10) 中小企業退職金共済法
- 11) 道路交通法
- 12) 河川法
- 13) 電気事業法
- 14) 公害対策基本法
- 15) 騒音規制法
- 16) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 17) 水質汚濁防止法
- 18) 酸素欠乏症等防止規則
- 19) 労働安全衛生法
- 20) 振動規制法

- 
- (2) 使用人に対する諸法令等の運用、適用は受注者が費用を負担し責任をもって行うこと。なお、建設業退職金共済組合制度及び建設労災補償共済制度に伴う運用については、受注者の責任において行うこと。

4. 提出書類

- (1) 受注者は、契約締結後、速やかに次の書類を提出し、承諾を受けたいえ、作業に着手すること。
- ① 着手届
 - ② 業務責任者届け及び経歴書
 - ③ 工程表
 - ④ 職務分担表
 - ⑤ 緊急時連絡網（平時・夜間）
 - ⑥ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者一覧
 - ⑦ 業務の一部を下請人に行わせる場合は、一部再委託承諾願を提出すること。
- (2) 提出した書類の内容を変更する必要があるときは、ただちに変更届を提出すること。
- (3) 受注者は着手日から完了日までの期間中、作業開始、終了の報告を作業日毎に発注者へ連絡すること。
- (4) 受注者は、各種施設の異常箇所を発見した時は、速やかに発注者へ報告し、その指示に従うこと。
- (5) 作業が完了した時は、速やかに次の書類を提出すること。
- ① 業務完了報告書
 - ② 作業記録写真
 - ③ 完了図書一式
- (6) 前記各項のほか、発注者が提出するように指示した書類は指定期日までに提出すること。

5. 官公署への手続き

受注者は契約締結後、速やかに関係官公署等に、作業に必要な道路使用、交通の制限等の届出、または許可申請を行い、その許可等を受けること。

6. 現場体制

- (1) 受注者は、現場に業務責任者を常駐もしくは連絡のとれる体制とし、所定の業務に従事させること。
- (2) 管路内の作業を行う場合は、酸素欠乏危険作業主任者を定め、現場に常駐させ、所定の業務に従事させること。

(3) 受注者は善良な作業員を選定し、秩序正しい作業を行わせ、かつ、熟練を要する作業には、相当の経験を有する者を従事させること。

(4) 受注者は、適正な作業の進捗を図るとともに、十分な数の作業員を配置すること。

7. 下請負の届出

発注者は、受注者が作業の一部を下請負させる場合で、作業の実施につき、著しく不相当であると認められる下請人は、交代を命ずることがある。この場合は、受注者はただちに必要な措置を講じること。

8. 地元住民等との協調

(1) 受注者は、作業を実施するにあたり、必要に応じて地元住民等に作業内容を説明し、理解と協力を得ること。

(2) 受注者は、地元住民等からの要望、もしくは地元住民等との交渉があった時は、遅滞なく発注者に申し出て、その指示を受け、誠意を持って対応し、その成果を速やかに報告すること。

(3) 受注者は、いかなる理由があっても地元住民等からの報酬、または手数料等を受け取ってはならない。なお、下請負人及び使用人についても、上記の行為の内容について、十分監督指導をすること。

(4) 使用人等が前項の行為を行った時は、受注者がその責任を負うものとする。

9. 損害賠償及び補償

受注者は、作業にあたり、万一注意義務を怠ったことにより、第三者に損害を与えた時は、ただちに発注者に報告し、その復旧及び賠償の全責任を負うこと。

10. 工程管理

(1) 受注者は、あらかじめ提出した工程表に従い、工程管理を適正に行うこと。


(2) 予定の工程表と、実績とに差が出た場合は、必要な措置を講じて、作業の進行を図ること。

11. 作業記録写真

受注者は、次の各項に従って、作業記録写真を撮影し、作業完了時には、工種ごとに工程順に編集したものを、調査記録写真帳に整理し、業務完了報告書に添付して、発注者に提出すること。

(1) 管渠内から、作業前後の状況を同一方向で撮影すること。ただし、管渠内からの撮影が困難な場合は、他の適切な方法で撮影を行うこと。

(2) 人力または機械による作業状況を、背景を入れて撮影すること。

- 
- (3) 写真には、作業件名、撮影場所、撮影対象及び業務名を明記した黒板を入れて撮影すること。
 - (4) 一枚の写真では、作業状況が明らかにならない場合は、貼り合わせること。
 - (5) 写真は、原則としてカラー撮影とし、その大きさはサービス版とすること。
 - (6) 撮影頻度は作業工程毎とする。

第2章 安全管理

1. 一般事項

- (1) 受注者は、公衆公害、労働災害及び物件損害等の未然防止に努め、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則に定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分に講じること。
- (2) 作業中は、気象情報に十分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合は、ただちに対処できるような対策を講じておくこと。
- (3) 事故防止を図るため、安全管理については、作業計画書に明示し、受注者の責任において実施すること。

2. 安全教育

- (1) 受注者は、作業に従事する者に対して、定期的に当該作業に関する安全教育を行い、作業員の安全意識の向上を図ること。
- (2) 受注者は、労働省令で定める酸素欠乏危険作業に掛かる業務について、特別な教育を行うこと。

3. 労働災害防止

- (1) 現場の作業環境は、常に良好な状態に保ち、機械器具その他の設備は常時点検して、作業に従事する者の安全を図ること。
- (2) 施設内に出入りし、またはこれらの内部で作業を行う場合は、労働省令で定める酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者の指示に従い、酸素欠乏空気、有毒ガスなどの有無を調査開始前と調査中は常時検査し、換気等事故防止に必要な措置を講じるとともに、呼吸用保護器具等を常備すること。なお、酸素及び硫化水素の測定結果は、記録保存し、発注者が提示を求めた場合は、その指示に従うこと。
- (3) 調査中、酸素欠乏空気や有毒ガスなどが発生した場合は、ただちに必要な措置を講ずるとともに、発注者及び他関係機関に緊急連絡を行い、その指示により、適切な措置を講ずること。
- (4) 資格を必要とする諸機械を取扱う場合は、必ず有資格者をあて、かつ、誘導員を配置すること。



4. 公衆災害防止

- (1) 調査中は、常時調査現場周辺の住居者及び通行人の安全、並びに交通の円滑な処理に努め、現場の保安対策を十分講ずること。
- (2) 調査現場には、下水道施設調査工と明示した標識を設けるとともに、夜間には十分な照明及び保安灯を施し、通行人、車両交通等の安全の確保に努めること。
- (3) 調査区域内には、交通誘導員を配置し、車両及び歩行者の通行の誘導、並びに整理を行うこと。
- (4) 調査に伴う交通処理及び保安対策は、本仕様書に定めるところによるほか関係官公署の指示に従い、適切に行うこと。
- (5) 前項の対策に関する具体的事項については、関係機関と十分協議して定め、協議結果を発注者に提出すること。

5. その他

- (1) 受注者は、調査にあたって、下水道施設またはガス管等の付近では、絶対に裸火を使用しないこと。
- (2) 万一、事故が発生した時は、緊急連絡体制に従い、直ちに発注者及び関係官公署に報告するとともに、速やかに必要な措置を講ずること。
- (3) 前項の通報後、受注者は事故の原因、経過及び被害内容を調査のうえ、その結果を書面により、ただちに市へ届けでること。

第3章 調査工

一般事項

- (1) 受注者は、調査計画書に調査箇所、調査順序等を定め、事前に発注者に報告した上で、調査に着手すること。
- (2) 調査にあたっては、下水道施設に損傷を与えないよう十分留意すること。
- (3) 調査にあたり、仮締切を必要とする場合は、発注者の承諾を得ること。この仮締切は、上流に溢水が起こらない構造で、かつ調査中の安全が確保されるものとする。ただし、上流に溢水が生じる恐れがある時は、ただちにこれを撤去すること。
- (4) 受注者は、調査にあたり、騒音規制法、振動規制法及び市条例等の公害防止関係法令に定める、規制基準を遵守するために必要な措置を講ずること。
- (5) 受注者が発注者の指示に反して、調査を続行した場合及び発注者が事故防止上危険と判断した場合は、調査の一時中止を命ずることがある。
- (6) 調査にあたり、道路その他の工作物を、搬出土砂等で汚損させないこと。万一、汚損させた時は、調査終了の都度、洗浄・清掃すること。
- (7) 調査終了後は、速やかに使用機器、仮設物等を搬出し、調査箇所の清掃に努めること。



令和7年度 岩沼市公共下水道事業 下水道管路施設（雨水）特別重点調査業務 特記仕様書

第1章 総則

1. 適用の範囲

本仕様書は、岩沼市が発注する下水道管路施設（雨水）の調査業務に適用する。

2. 調査対象施設

調査対象施設は、別紙位置図の通りとする。

3. 工期

本業務の工期は、契約締結日の翌平日から令和7年12月19日までとする。

4. 本業務の目的

本業務は、下水道管路施設（雨水）の調査を実施し、緊急度判定を行うことにより、施設の健全性を確認するものである。

5. 業務内容変更の措置

本業務を行うために既存資料が不足する場合、不足する内容を書面にて発注者に提出し協議すること。

6. 調査業務にかかる基本条件


本業務は、本仕様書等に関する現行の基準や指針に基づき行うこと。

7. 業務責任者

受注者は、（公社）日本下水道管路管理業協会の認定する下水道管路管理技士（総合技士、主任技士）や技術士等の資格を有する者を本業務における業務責任者として配置すること（専任性は求めない）。ただし、調査結果による緊急度の判定後にコンクリート診断士、技術士（建設部門、上下水道部門）、下水道管路管理総合技士、下水道管路管理主任技士の資格を有する別の者（以下、「専門家」と記す。）による再チェックを実施すること。

8. 作業報告

- (1) 受注者は、作業期間中、毎日午前9時までに調査を予定している箇所と実施の有無を報告すること。また、その日の調査の終了後、進捗状況等について発注者に報告すること。

- 
- (2) 市と受注者は、必要に応じて工程会議を実施すること。日程については、発注者と受注者で決定する。この場合、受注者は工程表（全体・月間・週間）、日報、その他調整資料、発注者が指示した資料を準備するものとする。

9. 地元調整

必要に応じて、受注者にて地元調整を行うものとする。地元お知らせビラを受注者により作成し、その内容については、発注者の承諾を得てから、受注者において、お知らせビラの部数を用意し、地元周知を図るものとする。また、作業時に通行止めになる道路に面する家屋及び騒音等が影響する家屋については、周知を徹底すること。特に夜間作業となる場合は、事前に発注者と協議し必要な指示を得ること。

第2章 業務の内容

1. 調査工

(1) 緊急連絡

調査中に、施設の流下機能が著しく低下している（破損、堆積物、木の根等）状況が確認された場合や道路陥没発生の疑いがある場合は、直ちに市へ連絡し、その指示に従うこと。また、速やかにそれらの状況が確認できる資料（位置図、判定表、写真）を市へ提出すること。

(2) 目視調査記録

目視調査については、写真撮影等を実施すること。

2. 清掃工について

- (1) 作業において、管渠内に土砂等の堆積物があり業務に支障が生じる場合は、発注者へ報告すること。

- (2) 管内清掃作業が必要と判断した場合は、別途協議とする。

3. 安全管理

安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は発注者と協議するものとする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について発注者と協議するものとする。

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署の打合せを行い実施するものとする。

交通誘導警備員については、作業時間中配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、発注者と別途協議すること。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。

4. 報告書の作成・提出

(1) 報告書の内容

① 調査記録表

調査結果は、報告書として提出するとともに、データを記録媒体（CD または DVD）にて提出すること。

② 写真

不良箇所・取付箇所のほかに、管口（管種、口径を記した黒板と共に）を撮影する。これらを施設毎に A4 サイズに 3 枚添付したデータ、及び施設毎にフォルダに保存したものを記録媒体（CD または DVD）にて提出すること。

③ 位置図

調査区域全体を表記した図面にその範囲を示し、詳細図に調査対象を示す。

④ その他

設計上必要な資料及び状況報告として必要な報告書

(2) 記録媒体の様式

報告書の内容が確認できる記録媒体（CD または DVD）で提出すること。

(3) 報告書の様式

① 報告書の資料

記録媒体（CD または DVD）にて提出する。データ形式については、別途協議を行うこと。

② 報告書製本の収納箱様式

原則、チューブファイル等にまとめ、クリアケースに収納すること。

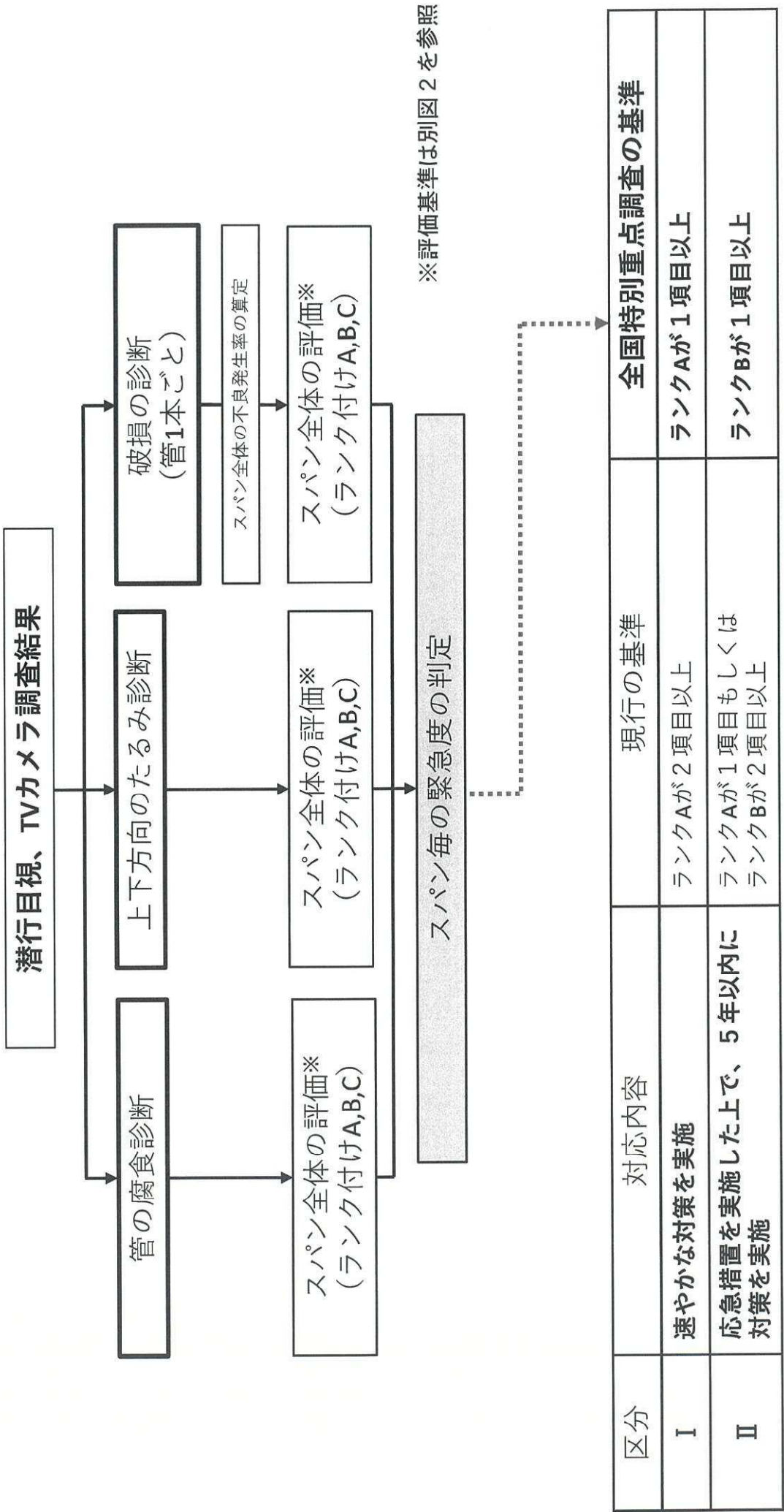
5. その他

(1) 業務の実施に当たっては、必ず事前に発注者と協議し、承諾を得てから業務を行うこと。また判定基準については、別図 1、2 を参考とすること。

(2) 調査対象については、調査後、結果をまとめた速報として優先して報告すること。

潜行目視・テレビカメラ調査における緊急度の判定基準

別図 1



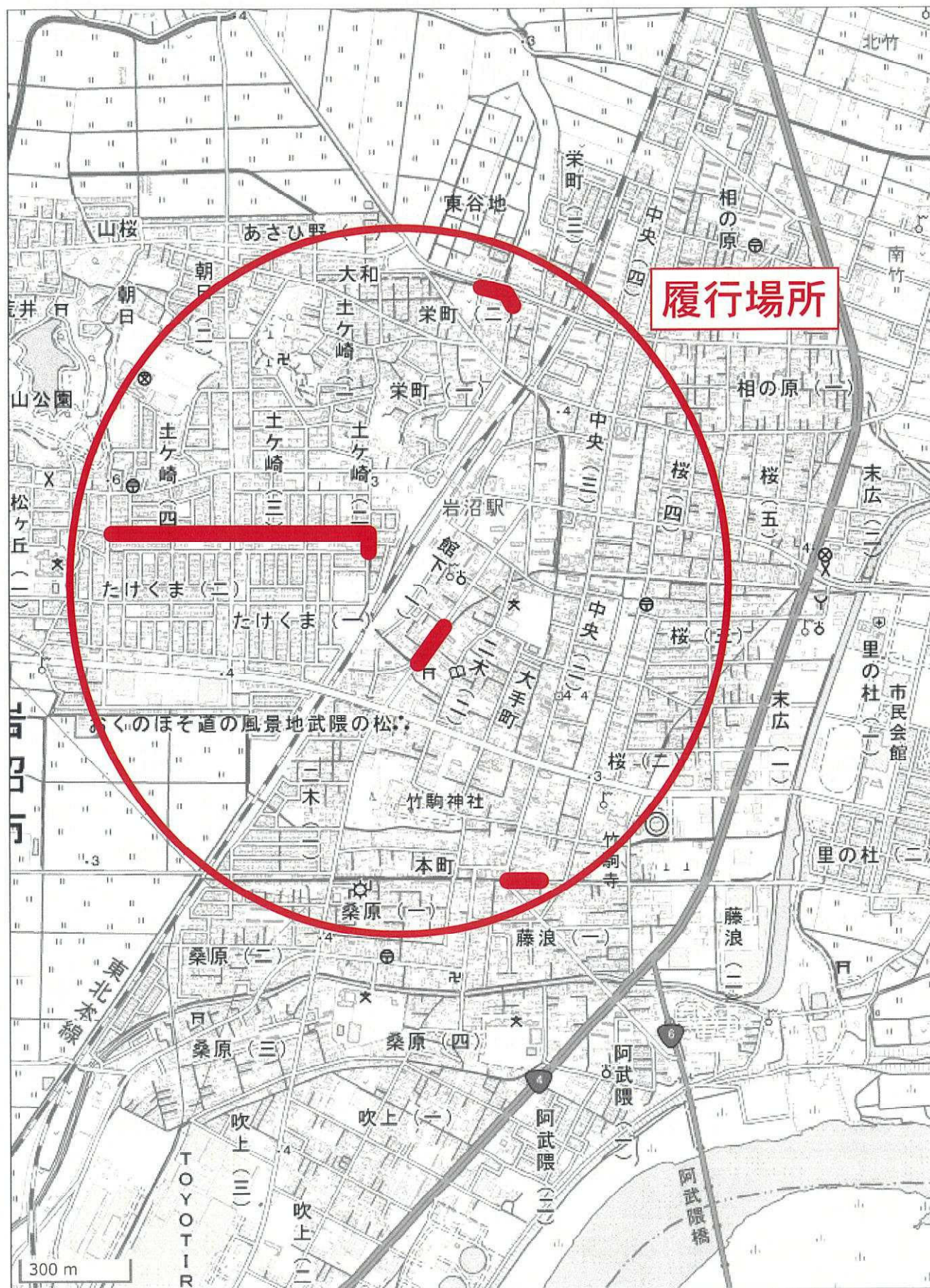
腐食、たるみ、破損の評価基準

別図2

スパン全体で評価		ランク	A	B	C
項目					
管の腐食			鉄筋露出状態	骨材露出状態	表面が荒れた状態
上下方向のたるみ	管きょ内径 1650mm以上 3000mm以下	内径の1/4以上	内径の1/8以上	内径の1/8未満	

管 一 本 ごとに 評価		ランク		a	b	c
項目						
管の欠落及び 軸方向クラック	鉄筋	コンクリート管等		欠落	軸方向のクラックで 幅2mm以上	軸方向のクラックで 幅2mm未満
				軸方向のクラックで 幅5mm以上		
			管の円周方向 クラック	円周方向のクラックで 幅5mm以上	円周方向のクラックで 幅2mm以上	円周方向のクラックで 幅2mm未満
	管の継手ズレ	脱却	70mm以上	70mm未満		
	浸入水			噴き出ている	流れている	にじんでいる
取付管の突出し			本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満	
樹木根侵入			内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—	

ランク (スパン全体での評価)	評価の基準 (不良発生率)
A	「aランク20%以上」もしくは「aランク+bランク40%以上」
B	「aランク20%未満」もしくは「aランク+bランク40%未満」 もしくは「aランク+bランク+cランク60%以上」
C	「aランク、bランクがなく、cランク60%未満」



1

業 務 料 内 訳 表					
費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
潜行目視調査業務	式	1	/	/	
診断業務	式	1	/	/	
業務価格	式	1	/	/	
消費税等相当額	式	1	/	/	
本業務費	式	1	/	/	

岩沼市

(07B0000002-0)

P. 4

本 工 事 内 訳 表

17:下水道工事(2)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	潜行目視調査工				式	1	/	/	
		管内潜行目視調査工			m	964	/	/	第1号単価表
		報告書作成工		緊急度判定等を含む	m	964	/	/	第2号単価表
	安全費				式	1	/	/	
		交通誘導警備員B			人	4	/	/	
	直接工事費				式	1	/	/	
	共通仮設費				式	1	/	/	
		率計算分			式	1	/	/	
	純工事費				式	1	/	/	
	現場管理費				式	1	/	/	

岩沼市

(07B0000002-0)

P. 5

本 工 事 内 訳 表

17:下水道工事(2)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		率計算分			式	1	/	/	
	工事原価				式	1	/	/	
	一般管理費等				式	1	/	/	
		一般管理費			式	1	/	/	
			率計算分		式	1	/	/	
		契約保証費			式	1	/	/	
	工事価格				式	1	/	/	
	工事価格(改め)				式	1	/	/	
		消費税等相当額			式	1	/	/	
	本工事費				式	1	/	/	

岩沼市

(07B0000002-0) 1 地区 仙台・関上

P. 6

第1号
B00000000001 A01

管内潜行目視調査工 600m当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
測量技師	6～7級	人		/	/		
測量技師補	3級	人		/	/		
測量助手	1級	人		/	/		
測量補助員		人		/	/		
ライトバン運転工	1.5L 80kW	日		/	/		第3号単価表
トラック運転工	2t積 110kW	日		/	/		第4号単価表
合 計		m	600	/	/		
単位当り		m	1	/	/		

岩沼市

(07B0000002-0) 1 地区 仙台・関上

P. 7

07B000002-07 1地区 掘削・土工

第2号 B00000000004 A01

報告書作成工 1,000m当たり単価表

緊急度判定等を含む

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
技師（A）	8級	人		/	/		
測量主任技師	8級	人		/	/		
測量技師	6～7級	人		/	/		
測量技師補	3級	人		/	/		
諸雑費		%	7.0	/	/		
合 計		m	1,000	/	/		
単位当り		m	1	/	/		

岩沼市

(07B0000002-0) 1 地区 仙台・関上

P. 8

第3号 B00000000002 A01		ライトバン運転工 1日当たり単価表				1.5L 80kW	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ガソリン	レギュラー	L	11	/	/		
ライドバン	損料 排気量1.5L 二輪駆動	時間		/	/		
合 計		日	1	/	/		

岩沼市

(07B0000002-0) 1 地区 仙台・関上

P. 9

第4号 B00000000003 A01		トラック運転工 1日当たり単価表				2t積 110kW	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
軽油	パトロール給油 1.2号	L	14	/	/		
トラック	損料 2t積	時間		/	/		
合 計		日	1	/	/		

岩沼市

(07B0000002-0)

P. 10

単 価 一 覧 表						
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
管内潜行目視調査工		m		/	/	第1号
報告書作成工	緊急度判定等を含む	m		/	/	第2号
ライトバン運転工	1.5L 80kW	日		/	/	第3号
トラック運転工	2t積 110kW	日		/	/	第4号
ライドバン	損料 排気量1.5L 二輪駆動	時間		/	/	
トラック	損料 2t積	時間		/	/	

岩沼市

(07B0000002-0)

P. 11

集計一覧表						
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑 摘 要
ライドバン	損料 排気量1.5L 二輪駆動	時間		/	/	
トラック	損料 2t積	時間		/	/	
交通誘導警備員B		人		/	/	
技師 (A)	8級	人		/	/	
測量主任技師	8級	人		/	/	
測量技師	6~7級	人		/	/	
測量技師補	3級	人		/	/	
測量助手	1級	人		/	/	
測量補助員		人		/	/	
軽油	パトロール給油 1.2号	L	22.4933	/	/	

岩沼市



(07B0000002-0)

P. 12

集計一覧表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ガソリン	リッター	L	17.6733	✓	✓		
合 計				✓	✓		

岩沼市

積 算 情 報 表

(07B0000002-0)

P. 13

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	週休2日の補正	0:補正しない ✓
変更回数	当初	(週休2日)交替制工事	なし
積算基準パターン	45:令和6年度基準(消費税10%) R6週休2日補正	一般管理費補正率	0%
施行主体名	岩沼市	契約保証費区分	計算区分3
設計書名(1行目)	令和7年度 岩沼市公共下水道事業 管渠施設調査業務(潜行目視調査) ✓	契約保証費率	金銭の保証
設計書名(2行目)		夜間補正区分	補正なし
設計書名(3行目)		夜間補正率	0%
工事箇所		冬期間補正区分	補正なし
路線・河川名		冬期間補正率	0%
工事番号		昼夜間補正区分	補正なし
設計年度	令和07年度	昼夜間補正率	0%
設計年月日	令和07年07月24日	着工年月日	令和 年 月 日
単価適用日付	令和07年07月01日 (04)	竣工期限	令和07年12月19日 ✓
単価適用地区	01 仙台・関上 ✓	工期開始	令和 年 月 日
適用率(工種区分)	17 下水道工事(2) ✓	工期終了	令和07年12月19日 ✓
間接工事費の被災地補正	0:補正しない ✓	工種名	下水道工事(2) ✓
前払金支出割合区分	前払金の保証がない工事 ✓	請負人	
共通仮設費補正	市街地(D I D補正)(I) ✓		
現場環境改善費	計上しない ✓		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	市街地(D I D補正)(I) ✓		
現場管理費率の補正(施工時期)	なし		

岩沼市

(0700000022-0)

P. 4

委 託 料 内 訳 表									
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	診断業務				式	1	/	/	
		修繕・改築計画		管路施設SM実施方針, 対象延長0.96(km)	業務	1	/	/	第1号単価表
		報告書作成		管路施設SM実施方針	業務	1	/	/	第2号単価表
		設計協議		0.96km	回	1	/	/	第3号単価表
		直接費			式	1	/	/	
			直接人件費		式	1	/	/	
		直接経費			式	1	/	/	
			旅費交通費(率分)		式	1	/	/	
			電子成果品作成費(率分)		式	1	/	/	
	その他原価				式	1	/	/	

岩沼市

(0700000022-0)

P. 5

委 託 料 内 訳 表									
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	業務原価				式	1	/	/	
	一般管理費等				式	1	/	/	
	業務価格				式	1	/	/	
		消費税等相当額			式	1	/	/	
	業務委託料				式	1	/	/	

岩沼市

(0700000022-0) 1 地区 仙台・関上

P. 6

070000022-07 1地区 面口・内上

1. 0

第1号 CIS6310 J02

修繕・改築計画 1業務当たり単価表

管路施設SM実施方針
対象延長0.96 (km)
P305

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
異常の程度の評価	修繕・改築計画 対象延長0.96 (km)	式	1				第4号単価表
緊急度・健全度の判定	修繕・改築計画 対象延長0.96 (km)	式	1				第5号単価表
照査	修繕・改築計画 対象延長0.96 (km)	式	1				第6号単価表
合 計		業務	1				
対象延長(km) A = 0.96		長寿命化対象施設選定の補正 (%) H = 0					
対象施設による割増 B = 02 管きよ+1施設		改築方法の選定の補正 (%) I = 0					
異常の程度の評価の補正 (%) C = 70		シワひびく改善額算定の補正 (%) J = 0					
緊急度・健全度の判定の補正 (%) D = 70		事業算出と時期設定の補正 (%) K = 0					
対策の必要性検討の補正 (%) E = 0		概算費用の算出の補正 (%) L = 0					
修繕・改築の優先順位の補正 (%) F = 0		修繕・改築とりまとめの補正 (%) M = 0					
対策範囲の検討の補正 (%) G = 0		照査の補正 (%) N = 70					

岩沼市

(0700000022-0) 1 地区 仙台・関上

P. 7

070000022 07 1 地区 計画 内上

第2号 CIS6330 J03

報告書作成 1業務当たり単価表

管路施設SM実施方針
P305

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師	9～10級	人					
技師（A）	8級	人					
技師（B）	6～7級	人					
技師（C）	4～5級	人					
合 計		業務	1				
作業内容の補正 (%) A = 50							

岩沼市

(0700000022-0) 1 地区 仙台・関上

P. 8

第3号 B00000000001 A05		設計協議 1回当たり単価表				0.96km	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師	9～10級	人					
技師 (A)	8級	人					
技師 (B)	6～7級	人					
合 計		回	1				

岩沼市

(0700000022-0) 1 地区 仙台・関上

P. 9

第4号 CIS6320 J02		異常の程度の評価 1式当たり単価表				修繕・改築計画 対象延長0.96 (km) P305	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師	9～10級	人					
技師 (A)	8級	人					
技師 (B)	6～7級	人					
技師 (C)	4～5級	人					
技術員	3級	人					
合 計		式	1				
作業内容 A = 01 異常の程度の評価 対象延長 (km) B = 0.96		対象施設による割増 C = 02 作業内容の補正 (%) D = 70		管きよ+1施設			

岩沼市

(0700000022-0) 1 地区 仙台・関上

P. 10

緊急度・健全度の判定 1式当たり単価表							修繕・改築計画 対象延長0.96(km) P305
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
主任技師	9～10級	人		/	/		
技師 (A)	8級	人		/	/		
技師 (B)	6～7級	人		/	/		
技師 (C)	4～5級	人		/	/		
技術員	3級	人		/	/		
合 計		式	1	/	/		
作業内容 A = 02 緊急度・健全度の判定 対象延長(km) B = 0.96		対象施設による割増 C = 02 作業内容の補正 (%) D = 70		管きよ+1施設			

岩沼市

(0700000022-0) 1 地区 仙台・関上

P. 11

照査 1式当たり単価表							修繕・改築計画 対象延長0.96(km) P305
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
理事・技師長	11級	人		/	/		
主任技師	9～10級	人		/	/		
技師 (A)	8級	人		/	/		
合 計		式	1	/	/		
作業内容 A = 12 照査 対象延長(km) B = 0.96		対象施設による割増 C = 02 作業内容の補正 (%) D = 70		管きよ+1施設			

岩沼市

単 価 一 覧 表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
修繕・改築計画	管路施設SM実施方針 対象延長0.96 (km)	業務		✓	✓		第1号
報告書作成	管路施設SM実施方針	業務		✓	✓		第2号
設計協議	0.96km	回		✓	✓		第3号
異常の程度の評価	修繕・改築計画 対象延長0.96 (km)	式		✓	✓		第4号
緊急度・健全度の判定	修繕・改築計画 対象延長0.96 (km)	式		✓	✓		第5号
照査	修繕・改築計画 対象延長0.96 (km)	式		✓	✓		第6号

岩沼市